

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2024年5月2日(02.05.2024)



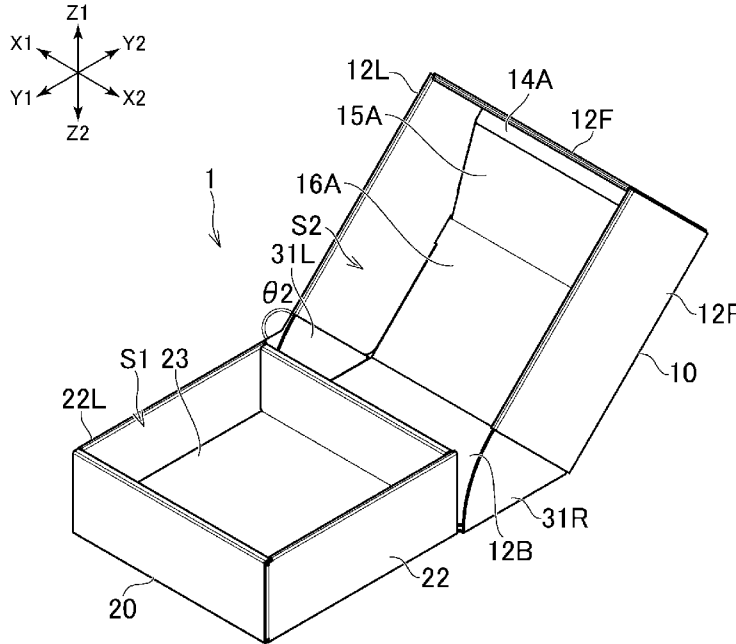
(10) 国際公開番号

WO 2024/090270 A1

- (51) 国際特許分類:
B65D 5/22 (2006.01) *B65D 5/66* (2006.01) JP]; 〒1080075 東京都港区港南1丁目7番1号 Tokyo (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2023/037412 (72) 発明者: 佐藤 元洋(SATO Motohiro); 〒1080075 東京都港区港南1丁目7番1号 ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社内 Tokyo (JP), 野田 孝紀(NODA, Takanori); 〒1080075 東京都港区港南1丁目7番1号 株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント内 Tokyo (JP). ▲浜▼本 篤典(HAMAMOTO, Atsunori); 〒1080075 東京都港区港南1丁目7番1号 株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント内 Tokyo (JP).
- (22) 国際出願日: 2023年10月16日(16.10.2023)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2022-170861 2022年10月25日(25.10.2022) JP
- (71) 出願人: 株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント (SONY INTERACTIVE ENTERTAINMENT INC.) [JP/ (74) 代理人: 弁理士法人はるか国際特許事務所 (HARUKA PATENT & TRADEMARK

(54) Title: BOX, AND BOX MATERIAL

(54) 発明の名称: 箱及び箱材料



(57) Abstract: Provided are a box from which an object accommodated inside the box can be removed easily, and a box material with which the box can be formed. A lid portion (10) of a box (1) includes a first peripheral wall portion (12) surrounding a top plate portion (11). An accommodating portion (20) of the box includes a second peripheral wall portion (22) surrounding a bottom plate portion (21). The first peripheral wall portion of the accommodating portion has a lower height than the first peripheral wall portion of the lid portion. The lid portion includes a supported surface (14A) that is



WO 2024/090270 A1

ATTORNEYS); 〒1020085 東京都千代田区六番町 3 六番町 S Kビル 5階 Tokyo (JP).

- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CV, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IQ, IR, IS, IT, JM, JO, JP, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MU, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, CV, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SC, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, ME, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

一 国際調査報告 (条約第21条(3))

disposed below the top plate portion and that is supported by an upper edge portion of the second peripheral wall portion in a state in which the lid portion is closed.

(57) 要約: 箱の内側に収納されている物品を取り出しやすくできる箱と、その箱を形成できる箱材料を提供する。箱(1)の蓋部(10)は、天板部(11)を取り囲む第1周壁部(12)を有している。箱の収納部(20)は、底板部(21)を取り囲む第2周壁部(22)を有している。収納部の第1周壁部は、蓋部の第1周壁部よりも高さが低い。蓋部は、蓋部が閉じられている状態で天板部よりも下方に配置され、第2周壁部の上端部で支持されている被支持面(14A)を有している。

明 細 書

発明の名称：箱及び箱材料

技術分野

[0001] 本開示は箱及び箱材料に関する。

背景技術

[0002] 下記特許文献1には、ゲーム装置の操作に利用される入力デバイスが開示されている。ゲーム装置や入力デバイスなどの物品は、蓋部を備える箱の内側に収納された状態で出荷される。そのような箱を、段ボールや厚紙などの平板状の部材を折り曲げることによって形成することにより、箱の製造コストを低減できる。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：国際公開第2014/061362号

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] 箱からの物品の取り出しは、簡単に行えることが望ましい。しかし、例えば、箱の内側に収納されている状態の物品の外面が箱の内面に接していると、箱から物品を取り出しにくい場合がある。

[0005] 本開示の目的は、箱の内側に収納されている物品を取り出しやすくできる箱と、その箱を形成できる箱材料を提供することにある。

課題を解決するための手段

[0006] 本開示に係る箱は、収納部と、前記収納部の上側を覆う蓋部とを備えている。前記蓋部は、天板部と、前記天板部を取り囲む第1周壁部とを有している。前記収納部は、底板部と、前記底板部を取り囲む第2周壁部とを有している。前記第1周壁部は、前記収納部と折り目を介して繋がっている。前記第2周壁部は、前記第1周壁部よりも高さが低い。前記蓋部は、前記蓋部が閉じられている状態で、前記天板部よりも下方に配置され、第2周壁部の上

端部で支持されている被支持面を更に有している。これによれば、箱の内側に収納されている物品を取り出しやすくなるようになる。

[0007] また、本開示に係る箱材料は、折り曲げることによって収納部と蓋部とを備える箱を形成できる平板状の箱材料である。前記蓋部は、天板部と、前記天板部を取り囲むための第1周壁部を有している。前記収納部は、底板部と、前記底板部を取り囲むための第2周壁部を有している。前記第1周壁部は、前記箱が形成されている状態で、前記収納部と折り目を介して繋がっている。前記第2周壁部は、前記箱が形成されており且つ前記蓋部が閉じられている状態で、前記第1周壁部よりも高さが低くなるように形成される。前記蓋部は、前記箱が形成されており且つ前記蓋部が閉じられている状態で、前記天板部よりも下方に配置され、前記第2周壁部の上端部で支持される被支持面を更に有している。これによれば、箱の内側に収納されている物品を取り出しやすい箱を形成できるようになる。

図面の簡単な説明

[0008] [図1A]本開示の実施形態の一例である箱の斜視図である。

[図1B]箱の斜視図である。

[図1C]箱の斜視図である。

[図2]箱の底面図である。

[図3]図2に示したⅠⅠⅠ-ⅠⅠⅠ線における断面図である。

[図4]箱の側面図である。

[図5A]箱を構成する外側部材の展開図である。

[図5B]箱を構成する内側部材の展開図である。

[図6A]箱の組み立て方法を説明する図である。

[図6B]箱の組み立て方法を説明する図である。

[図6C]箱の組み立て方法を説明する図である。

[図6D]箱の組み立て方法を説明する図である。

[図6E]箱の組み立て方法を説明する図である。

[図6F]箱の組み立て方法を説明する図である。

[図6G]箱の組み立て方法を説明する図である。

発明を実施するための形態

[0009] [1. 箱の構造]

以下に、本開示の実施形態の一例である箱1について説明する。以下では、箱1が床面などの水平面（不図示）に置かれている状態を説明し、水平面に沿ったX1及びX2の方向を、それぞれ左方向及び右方向と称する。同じく水平面に沿ったY1及びY2の方向（X1及びX2の方向に対して垂直な方向）を、それぞれ前方及び後方と称する。また、水平面に対して垂直なZ1及びZ2の方向を、それぞれ上方及び下方と称する。ただし、これらの方向は、箱1の部材や部分などの要素の形状や相対的な位置関係を説明するため規定されるものであり、水平面に対する箱1の姿勢を限定するものではない。

[0010] 図1A～図1Cは箱1の斜視図である。図1Aは箱1が閉じられている状態を示し、図1B及び図1Cは箱1が開かれている状態を示している。図2は箱1が閉じられている状態での箱1の底面図であり、図3は、図2に示した| | | - | | |線における断面図である。図3は、箱1の内側に物品2が収納されている状態を示している。図4は箱1の側面図である。図4では箱1が開かれており、且つ箱1の内側に物品2が収納されている状態を示している。

[0011] 図1Aに示すように、箱1が閉じられている状態で、箱1の形状は直方体状である。箱1の内側には、図3及び図4に示すように、電子製品などである物品2が収納される。図4に示すように、箱1は物品2が収納される収納部20と、収納部20と繋がっている蓋部10とを有している。図1A及び図3に示すように、箱1が閉じられている状態で、蓋部10は収納部20の上側を覆っている。蓋部10は、収納部20の上側を覆うことで収納部20を閉じる閉位置（図1Aを参照）と、収納部20を開く開位置（図1Cを参照）との間で動くことができる。図1B及び図1Cに示すように、箱1が床面などの水平面に置かれている状態で、蓋部10は、90度である角度 $\theta 1$

よりも大きな角度 $\theta 2$ （90度よりも大きな角度）で動くことができる。これにより、収納部20に物品2を収納したり、収納部20から物品2を取り出したりするときに、蓋部10が物品2に干渉することを抑制できる。図1B及び図1Cにおいて、角度 $\theta 1$ 、 $\theta 2$ は、蓋部10の下端部（後述する第1左壁部12L）の縁に沿った直線と、収納部20の上端部（後述する第2左壁部22L）の縁に沿った直線とがなす角度を示している。

[0012] 図1B、図1C、及び図3に示すように、収納部20の内側には、物品2の少なくとも一部分（物品2の下側）が収納される収納空間S1が規定されている。また、蓋部10の内側にも、物品2の少なくとも一部分（物品2の上側）が収納される収納空間S2が規定されている。図1B及び図1Cに示すように、蓋部10が開かれている状態で、収納部20の内側に規定されている収納空間S1は上方に露出する。また、図3に示すように、収納部20の内側に規定されている収納空間S1の上下方向における高さH1は、物品2の上下方向における高さH2よりも低い。このため、図4に示すように、蓋部10が開かれている状態の箱1の側面視において、物品2の上側が収納部20から露出する。これにより、収納部20に収容された状態の物品2の上側の右側面及び左側面を指で触れることが容易になり、収納部20から物品2を取り出しやすくなる。

[0013] 図2及び図3に示すように、物品2が収納される収納部20は、箱1の下端部を構成している板状の底板部21を有している。また、図1Aに示すように、収納部の10を覆う蓋部10は、箱1が閉じられている状態で箱1の上端部を構成している板状の天板部11を有している。蓋部10は、天板部11を取り囲む第1周壁部12を有している。収納部20は、底板部21を取り囲む第2周壁部22を有している。蓋部10が閉じられている状態で、蓋部10の第1周壁部12は、収納部20の第2周壁部22の外面を覆っている。

[0014] 図2に示すように、底板部21は四角形である。また、図1Aに示すように、天板部11も四角形である。図1Bに示すように、天板部11を取り囲

んでいる第1周壁部12は、第1後壁部12Bと、第1前壁部12Fと、第1左壁部12Lと、第1右壁部12Rとを有している。第1周壁部12において、第1後壁部12Bと第1前壁部12Fとは、前後方向（上下方向に対して垂直な第1の方向）に離れており、第1左壁部12Lと第1右壁部12Rは、第1後壁部12Bから第1前壁部12Fに伸びている。第1左壁部12Lと第1右壁部12Rとは、左右方向に離れている。本実施形態では、第1後壁部12Bが本開示の第1側壁部に対応し、第1前壁部12Fが本開示の第2側壁部に対応し、第1左壁部12L又は第1右壁部12Rが本開示の第3側壁部に対応している。また、底板部21を取り囲んでいる第2周壁部22は、第2後壁部22Bと、第2前壁部22Fと、第2左壁部22Lと、第2右壁部22Rとを有している。第2周壁部22において、第2後壁部22Bと第2前壁部22Fとは、前後方向に離れており、第2左壁部22Lと第2右壁部22Rとは、第2後壁部22Bから第2前壁部22Fに伸びている。第2左壁部22Lと第2右壁部22Rとは、左右方向に離れている。

[0015] 図1A、図1B、及び図3に示すように、収納部20に形成されている第2周壁部22の上下方向における高さD2は、蓋部10に形成されている第1周壁部12の高さD1よりも低くなっている。換言すると、第1周壁部12の上下方向における高さD1は、第2周壁部22の高さD2よりも高くなっている。このため、図3に示したように、蓋部10の内側には、物品2の上側を収納するための収納空間S2が規定されている。このようにすることで、図4に示したように、蓋部10が開いている状態の箱1の側面視において、収納部20に収納されている物品2を収納部20から露出させることができ、且つ、蓋部10が閉じられるときに、蓋部10が物品2に干渉することを抑制できる。

[0016] 図1C及び図3に示すように、蓋部10は被支持面14Aを有している。蓋部10が閉じられている状態で、被支持面14Aは、天板部11よりも下方に配置され、収納部20に形成されている第2周壁部22の上端部で支持される。このようにすることで、蓋部10が閉じられている状態で、蓋部1

0が下方に沈み込むことを抑制でき、箱1の外形が崩れることを抑制できる。蓋部10において、被支持面14Aは、第1前壁部12F（第2側壁部）に接し、第1前壁部12Fの内側に形成されている。これにより、被支持面14Aは、第2周壁部22の前側に形成されている第2前壁部22Fによって支持される。図3に示すように、上下方向における天板部11と被支持面14Aとの間の距離D3と第2前壁部22Fの高さD2との合計は、第1前壁部12Fの高さD1と等しい。これにより、蓋部10が閉じられている状態で、蓋部10（より具体的には、第1前壁部12F）の下端部と、収納部20（より具体的には、第2前壁部22F）の下端部との位置を揃えることができる。

[0017] 図1C及び図3に示すように、蓋部10は、被支持面14Aから上方且つ後方（第1後壁部12Bに向かう方向）の斜め方向に伸びている傾斜面15Aを有している。また、蓋部10は、傾斜面15Aから後方に伸びている平坦面16Aを有している。図3に示す例では、物品2は上端部の全域に湾曲面Cを有しており、蓋部10が閉じられている状態で、傾斜面15A及び平坦面16Aは、物品2の湾曲面Cと対向している。このようにすることで、箱1が傾いたときに傾斜面15Aと平坦面16Aとの少なくとも2か所で物品2を押さえることができる。

[0018] 図1B及び図3に示すように、収納部20は、収納空間S1の底部を構成している中板部23を有している。図3に示すように、中板部23は、底板部21に沿って配置され、底板部21との間に空間S3を形成している。この空間S3にも、取扱説明書や保証書などの物品を収納することができる。

[0019] [2. 展開図との関係]

図5A及び図5Bは、箱1を構成する平板状の箱材料の平面図である。図5Aは、箱1の構成要素である外側部材8の展開図であり、図5Bは、箱1の他の構成要素である内側部材9の展開図である。図5A及び図5Bに示す箱材料は、例えば、厚紙や段ボール紙で形成されてよいし、プラスチックで形成されてもよい。外側部材8は、図5Aに示す箱材料を折り目に沿って折

りたたむことによって形成される。同様に、内側部材 9 は、図 5 B に示す箱材料を折り目に沿って折りたたむことによって形成される。後述するように、箱 1 は、外側部材 8 に内側部材 9 を取り付けることによって形成される。図 5 A、図 5 B、及び後述する図 6 A～図 6 G において、点線は山折りの折り目を示し、一点鎖線は谷折りの折り目を示している。

[0020] 箱 1 の構成要素のうち、中板部 23 と、収納部 20 の第 2 後壁部 22 B とが、内側部材 9 によって形成される。そして、蓋部 10、収納部 20 の底板部 21、第 2 前壁部 22 F、第 2 左壁部 22 L、及び第 2 右壁部 22 R などの要素が、外側部材 8 によって形成される。図 5 A 及び図 5 B に示すように、蓋部 10 の第 1 周壁部 12 を構成する第 1 前壁部 12 F、第 1 左壁部 12 L、第 1 右壁部 12 R、及び第 1 後壁部 12 B では、その壁部の外側を構成する部分と内側を構成する部分とが 1 つの折り目を介して繋がっている。また、図 5 A に示すように、収納部 20 の第 2 周壁部 22 を構成する第 2 前壁部 22 F、第 2 左壁部 22 L、及び第 2 右壁部 22 R でも、その壁部の外側を構成する部分と内側を構成する部分とが 1 つの折り目を介して繋がっている。

[0021] 図 5 A に示すように、第 1 前壁部 12 F は、互いに折り目を介して繋がっている外側壁部 121 F と内側壁部 122 F を有し、第 1 左壁部 12 L は、互いに折り目を介して繋がっている外側壁部 121 L と内側壁部 122 L を有し、第 1 右壁部 12 R は、互いに折り目を介して繋がっている外側壁部 121 R と内側壁部 122 R を有している。外側壁部 121 F、121 L、121 R、121 B は、折り目を介して天板部 11 と繋がっている。

[0022] 図 5 A に示すように、第 2 前壁部 22 F は、互いに折り目を介して繋がっている外側壁部 221 F と内側壁部 222 F を有し、第 2 左壁部 22 L は、互いに折り目を介して繋がっている外側壁部 221 L と内側壁部 222 L を有し、第 2 右壁部 22 R は、互いに折り目を介して繋がっている外側壁部 221 R と内側壁部 222 R を有している。外側壁部 221 F、221 L、121 R は、折り目を介して底板部 21 と繋がっている。底板部 21 には、切

れ目Kが形成されている。この切れ目Kに沿って規定されている底板部21の一部分を折り目に沿って折り曲げることにより、空間S3（図4を参照）と繋がる穴を形成できる。この穴から取扱説明書や保証書などの物品を空間S3に収納できる。また、図5Bに示すように、第2後壁部22Bも、互いに折り目を介して繋がっている外側壁部221Bと内側壁部222Bとを有している。

[0023] 図5Aに示すように、蓋部10の第1周壁部12を構成する第1後壁部12Bは、外側壁部121Bと内側壁部122Bを有している。図5Aに示す外側部材8の展開図において、第1後壁部12Bの外側壁部121Bと内側壁部122Bとは、前後方向に離間している。外側部材8の展開図において、外側壁部121Bと内側壁部122Bとの間には、被支持面14Aが形成される被支持部14と、傾斜面15Aが形成される傾斜部15と、平坦面16Aが形成される平坦部16とが配置されている。被支持面14A、傾斜面15A、及び平坦面16Aは、図5Aに示す平板状の箱材料の裏面に規定される。

[0024] 蓋部10の第1周壁部12において、第1左壁部12Lは、外側壁部121Lに対して内側壁部122Lを折ることによって形成される。これにより、第1左壁部12Lの外側壁部121Lと内側壁部122Lの間には、隙間が形成される。これと同様に、第1右壁部12Rの外側壁部121Rと内側壁部122Rとの間にも、隙間が形成される。図5Aに示すように、第1後壁部12B及び第1前壁部12Fは、第1左壁部12Lに形成される隙間に差し込まれる差し込み部31L、32Lをそれぞれ有している。また、第1前壁部12F及び第1後壁部12Bは、第1右壁部12Lに形成される隙間に差し込まれる差し込み部31R、32Rをそれぞれ有している。差し込み部31L、31Rは、第1後壁部12Bを構成する外側壁部121Bの左端部と右端部とにそれぞれ折り目を介して繋がっている。差し込み部32L、32Rは、第1前壁部12Fを構成する外側壁部121Fの左端部と右端部とにそれぞれ折り目を介して繋がっている。このように、第1後壁部12B

及び第1前壁部12Fにそれぞれ形成されている差し込み部31L, 32Lを第1左壁部12Lに形成される隙間に差し込み、第1後壁部12B及び第1前壁部12Fにそれぞれ形成されている差し込み部31R, 32Rを第1右壁部12Rに形成される隙間に差し込むことにより、第1周壁部12において、第1後壁部12B、第1前壁部12F、第1左壁部12L、及び第1右壁部12Rの相対位置を保持することができる。

[0025] 収納部20の第2周壁部22において、第2左壁部22Lも、外側壁部221Lに対して内側壁部222Lを折ることによって形成される。これにより、第2左壁部22Lの外側壁部221Lと内側壁部222Lの間にも、隙間が形成される。これと同様に、第2右壁部22Rの外側壁部221Rと内側壁部222Rとの間と、第2前壁部22Fの外側壁部221Fと内側壁部222Fとの間にも、それぞれ隙間が形成される。図5Aに示すように、第2左壁部22L及び第2右壁部22Rは、第2前壁部22Fに形成される隙間に差し込まれる差し込み部41L, 41Rをそれぞれ有している。差し込み部41Lは、第2左壁部22Lを構成する外側壁部221Lの前端部と折り目を介して繋がっている。差し込み部41Rは、第2右壁部22Rを構成する外側壁部221Rの前端部と折り目を介して繋がっている。また、第2前壁部22Fは、第2左壁部22Lに形成される隙間と、第2右壁部22Rに形成される隙間とにそれぞれ差し込まれる差し込み部42L, 42Rを有している。差し込み部42Lは、第2前壁部22Fを構成する内側壁部222Fの左端部と折り目を介して繋がっており、差し込み部42Rは、内側壁部222Fの右端部と折り目を介して繋がっている。このように、第2左壁部22L及び第2右壁部22Rにそれぞれ形成されている差し込み部41L, 41Rを第2前壁部22Fに形成される隙間に差し込み、第2前壁部22Fに形成されている差し込み部42L, 42Rを第2左壁部22Lに形成される隙間と第2右壁部22Rに形成される隙間とにそれぞれ差し込むことにより、第2周壁部22において、第2前壁部22F、第2左壁部22L、及び第2右壁部22Rの相対位置を保持することができる。

[0026] 図5Bに示すように、内側部材9に設けられる収納部20の第2後壁部22Bは、外側壁部221Bの左端部と折り目を介して繋がっている差し込み部43Lと、外側壁部221Bの右端部と折り目を介して繋がっている差し込み部43Rとを有している。差し込み部43Lは、第2左壁部22Lの外側壁部221Lと内側壁部222Lとの間に形成される隙間に差し込まれる。差し込み部43Rは、第2右壁部22Rの外側壁部221Rと内側壁部222Rとの間に形成される隙間に差し込まれる。これにより、後述する図6Gに示すように、外側部材8に内側部材9を取り付けることができ、第2後壁部22B、第2左壁部22L、及び第2右壁部22Rの相対位置を保持することができる。

[0027] 図3に示すように、蓋部10の第1周壁部12は、収納部20と折り目を介して繋がっている。図5Aに示すように、第1周壁部12を形成する第1後壁部12B（より具体的には、外側壁部121B）は、収納部20（より具体的には、収納部20を構成する底板部21）と折り目を介して繋がっている。また、収納部20に形成される第2周壁部22（より具体的には、第2前壁部22F）によって支持される被支持面14Aが形成される被支持部14は、蓋部10に形成される第1前壁部12F（第2側壁部）の内側壁部122Fと折り目を介して繋がっている。

[0028] 図5Aに示すように、収納部20において、外側壁部221F, 221L, 221Rは、底板部21と折り目を介して繋がっている。また、蓋部10において、外側壁部121F, 121L, 121R, 121Bは、天板部11と折り目を介して繋がっている。蓋部10において、傾斜部15は、被支持部14と折り目を介して繋がっており、平坦部16は、傾斜部15と折り目を介して繋がっている。蓋部10に形成される第1後壁部12Bの内側壁部122Bは、平坦部16と折り目を介して繋がっている。図5Aに示す外側部材8の展開図において、第1後壁部12Bの外側壁部121Bは、蓋部10の前端部に位置し、第1後壁部12Bの内側壁部122Bは、蓋部10の後端部に位置している。

[0029] 図5 Aに示すように、収納部20に形成される内側壁部222F, 222L, 222Rと、蓋部10に形成される内側壁部122Bとは、それらの部分と折り目を介して繋がっている滑り止め片51F, 51L, 51R, 51Bを有している。滑り止め片51F, 51L, 51R, 51Bが底板部21の上面と接触することにより、これらの端部とそれぞれ繋がっている内側壁部222F, 222L, 222R, 122Bが収納部20の内側へ動く（滑る）ことを抑制できる。また、傾斜部15の左端部と右端部には、谷折りの折り目を介して傾斜部15と繋がっている滑り止め片52L, 52Rが形成されている。図3に示すように、滑り止め片52L, 52Rの縁部が天板部11及び第1前壁部12Fに当たることにより、蓋部10の内側において傾斜部15が動く（滑る）ことを抑制できる。

[0030] 図5 Aに示すように、第2左壁部22Lを形成する内側壁部222Lと、第2右壁部22Rを形成する内側壁部222Rは、その前端部に押圧片54L, 54Rをそれぞれ有している。押圧片54L, 54Rは、第2左壁部22Lの隙間と、第2右壁部22Rの隙間とにそれぞれ収容された内側部材9の差し込み部43L, 43R（図5 B、図6 F、図6 Gを参照）を内側に押す。これにより、内側部材9が外側部材8から外れることを抑制できる。また、内側壁部222L, 222Rの後端部には、第2左壁部22L及び第2右壁部22Rの厚みを均一にするための調整片55L, 55Rが設けられている。

[0031] 図5 Bに示すように、中板部23は、中板部23の前端部、左端部、及び右端部に折り目を介して繋がっている支持片53F, 53L, 53Rを有している。図3に示すように、支持片53F, 53L, 53Rがそれぞれ中板部23に対して折られることにより、支持片53F, 53L, 53Rは中板部23を支持し、底板部21との間に空間S3を確保している。支持片53F, 53L, 53Rの幅（高さ）E1, E2, E3は、いずれも等しい。また、図5 Bに示すように、中板部23と折り目を介して繋がっている第2後壁部22Bにおいて、外側壁部221Bの幅E4は、内側壁部222Bの幅

E 5 よりも大きい。第 2 後壁部 2 2 B における幅 E 4 と幅 E 5 との差が、支持片 5 3 F, 5 3 L, 5 3 R の幅 E 1, E 2, E 3 と等しくなっている。これにより、収納部 2 0 の内側において、中板部 2 3 を水平に配置できる。

[0032] 蓋部 1 0 の第 1 後壁部 1 2 B に形成されている差し込み部 3 1 L, 3 1 R は、第 1 左壁部 1 2 L 又は第 1 右壁部 1 2 R に対して動くことができる可動部として機能する。図 1 A ~ 図 1 C に示すように、可動部である差し込み部 3 1 L, 3 1 R は、その全体が第 1 左壁部 1 2 L の隙間、又は第 1 右壁部 1 2 R の隙間に配置されている第 1 の位置 (図 1 A、図 1 B を参照) と、その一部分が第 1 左壁部 1 2 L の隙間、又は第 1 右壁部 1 2 R の隙間から露出している第 2 の位置 (図 1 C を参照) との間での動きが許容されている。図 1 A に示すように、蓋部 1 0 が閉位置にあるときには、差し込み部 3 1 L, 3 1 R は、その全体が隙間の内側に配置されている第 1 の位置にある。また、図 1 C に示すように、差し込み部 3 1 L, 3 1 R の一部分が隙間から露出する第 2 の位置にあるときには、蓋部 1 0 は開位置にある。このように、蓋部 1 0 において、第 1 左壁部 1 2 L に形成されている隙間と、第 1 右壁部 1 2 R に形成されている隙間とに対しての差し込み部 3 1 L, 3 1 R の動きを許容することで、蓋部 1 0 の開閉を許容しつつ、第 1 左壁部 1 2 L と第 1 右壁部 1 2 R との姿勢を保持することができる。また、図 1 C 及び図 5 A に示すように、差し込み部 3 1 L, 3 1 R の縁部を円弧状に形成されることによって、蓋部 1 0 を 90 度よりも大きな角度 $\theta 2$ (図 1 C を参照) に動かすことが可能になる。

[0033] [3. 箱の組み立て]

図 6 A ~ 図 6 G は、箱 1 の組み立て方法を説明する図である。なお、図 6 A ~ 図 6 G では、底板部 2 1 に設けられている切れ目 K の記載を省略している。

[0034] まず、図 6 A に示すように、平板状の外側部材 8 の箱材料 (図 5 A を参照) において、差し込み部 3 1 L, 3 1 R を外側壁部 1 2 1 B に対して上方に折り曲げる。これと同様に、差し込み部 3 2 L, 3 2 R を外側壁部 1 2 1 F

に対して上方に折り曲げる。また、滑り止め片52L, 52Rも、傾斜部15に対して上方に折り曲げる。次いで、図6A及び図6Bに示すように、蓋部10の天板部11を外側壁部121Bに対して上方に折り曲げるとともに、外側壁部121Fを天板部11に対して前方に折り曲げる。

[0035] 次いで、図6B及び図6Cに示すように、外側壁部121Lを天板部11に対して前方に折り曲げ、内側壁部122Lを外側壁部121Lに対して後方に折り曲げることにより、蓋部10の第1左壁部12Lを形成する。この過程で、左側の差し込み部31L, 32Lが、外側壁部121Lと内側壁部122Lとの間の隙間（第1左壁部12Lに形成される隙間）に收容される。これと同様に、外側壁部121Rと内側壁部122Rを折り目に沿って折り曲げることにより、蓋部10の第1右壁部12Rを形成する。この過程で、右側の差し込み部31R, 32Rが、外側壁部121Rと内側壁部122Rとの間の隙間（第1右壁部12Rに形成される隙間）に收容される。

[0036] 次いで、図6C及び図6Dに示すように、内側壁部122Fを外側壁部121Fに対して後方に折り曲げるとともに、被支持部14、傾斜部15、平坦部16、及び内側壁部122Bを折り目に沿って折り曲げることにより、これらの各部と、傾斜部15に対して折り曲げられている滑り止め片52L, 52Rとが、蓋部10の内側に收容される。これにより、蓋部10の第1前壁部12F、第1後壁部12B、及び収納空間S2が形成される。図6Cに示すように、内側壁部122Bと折り目を介して繋がっている滑り止め片51Bは、収納空間S2の外側に配置され、底板部21と接触する。

[0037] 次いで、図6D及び図6Eに示すように、外側壁部221L, 221Rを、それぞれ底板部21に対して上方に折り曲げる。そして、差し込み部41L, 41Rを、それぞれ外側壁部221L, Rに対して後方に折り曲げる。次いで、図6E及び図6Fに示すように、外側壁部221Fを底板部21に対して上方に折り曲げ、内側壁部222Fを外側壁部221Fに対して下方に折り曲げることにより、収納部20の第2前壁部22Fを形成する。この過程で、収納部20の前側に位置する差し込み部41L, 41Rが、外側壁

部 2 2 1 F と内側壁部 2 2 2 F との間の隙間（第 2 前壁部 2 2 F に形成される隙間）に收容される。滑り止め片 5 1 F は内側壁部 2 2 2 F に対して内側に折り曲げられて、底板部 2 1 と接触する。

[0038] 次いで、図 6 F 及び図 6 G に示すように、押圧片 5 4 L と調整片 5 5 L を内側壁部 2 2 2 L に対して折り曲げ、内側壁部 2 2 2 L を外側壁部 2 2 1 L に対して下方に折り曲げることによって、収納部 2 0 の第 2 左壁部 2 2 L を形成する。押圧片 5 4 L 及び調整片 5 5 L は、外側壁部 2 2 1 L と内側壁部 2 2 2 L との間の隙間（第 2 左壁部 2 2 L に形成される隙間）に收容される。これと同様に、押圧片 5 4 R、調整片 5 5 R、及び内側壁部 2 2 2 R を折り目に沿って折り曲げることにより、収納部 2 0 の第 2 右壁部 2 2 R を形成する。滑り止め片 5 1 L、5 1 R は内側壁部 2 2 2 L、R に対して内側に折り曲げられて、底板部 2 1 と接触する。

[0039] 次いで、平板状の内側部材 9 の箱材料（図 5 B を参照）を折り目に沿って折り曲げることにより、図 6 G に示す内側部材 9 を形成する。最後に、内側部材 9 の差し込み部 4 3 L、4 3 R を、第 2 左壁部 2 2 L に形成されている隙間と、第 2 右壁部 2 2 R に形成されている隙間とにそれぞれ差し込むことにより、内側部材 9 を外側部材 8 に取り付ける。これにより、収納部 2 0 において、中板部 2 3 と第 2 後壁部 2 2 B が形成される。以上の工程によって、板状の厚紙や段ボール紙などの箱材料から箱 1 を組み立てることができる。

[0040] 以上のように形成される箱 1 の外面及び内面は、可動部である差し込み部 3 1 L、3 1 R を除き、図 5 A に示す平板状の箱材料の裏面、又は、図 5 B に示す平板状の箱材料の表面のみで形成される。蓋部 1 0 において、天板部 1 1 の上面、第 1 周壁部 1 2 の外面及び内面、蓋部 1 0 の裏側である被支持面 1 4 A、傾斜面 1 5 A、及び平坦面 1 6 A は、図 5 A に示す箱材料の裏面（第 1 面）の一部である。収納部 2 0 において、底板部 2 1 の下面、第 2 周壁部 2 2 の一部分（第 2 前壁部 2 2 F、第 2 左壁部 2 2 L、及び第 2 右壁部 2 2 R）の外面及び内面も、図 5 A に示す箱材料の裏面の一部である。

また、収納部20において、中板部23の上面及び第2周壁部22の第2後壁部22Bの内面及び外面は、図5Bに示す平板状の箱材料の表面の一部である。このため、例えば、箱1の内面及び外面を着色したりコーティングしたりする場合、平板状の箱材料の片面のみに、着色やコーティングなどの処理を施せばよいため、箱1の製造コストを低減できる。

[0041] [4. まとめ]

以上のように、本実施形態で説明した箱1は、図6Gで示したように、板状の箱材料を折り曲げることによって形成される外側部材8と、板状の箱材料を折り曲げることによって形成される内側部材9とを組み合わせることによって形成される。図1A～図1Cで示したように、箱1は、物品2を収納するための収納部20と、収納部20の上側を覆う蓋部10とを備えている。蓋部10は、天板部11と、天板部11を取り囲む第1周壁部12を有し、収納部20は、底板部21と、底板部21を取り囲む第2周壁部22を有している。図3及び図5Aで示したように、第1周壁部12は、底板部21と折り目を介して繋がっている第1後壁部12Bを有している。収納部20の第2周壁部22は、蓋部10の第1周壁部12よりも高さが低く、収納部20の内側と蓋部10の内側とに、それぞれ収納空間S1, S2が形成されている。これにより、蓋部10が開いた状態の箱の側面視（図4を参照）において物品2が収納部20から露出し、収納部20から物品2を取り出しやすくなることができる。

[0042] また、図3で示したように、蓋部10は、蓋部10が閉じられている状態で天板部11よりも下方に配置され、収納部20に形成されている第2周壁部22の上端部で支持されている被支持面14Aを有している。蓋部10が閉じられている状態で、収納部20の第2周壁部22が蓋部10の被支持面14Aを支持することにより、蓋部10が収納部20に対して下方に沈み込むことを抑制でき、箱1の外形が崩れることを抑制できる。

[0043] なお、本発明は、以上の実施形態に限定されるものではない。実施形態で説明した箱1の形状は、平面視において四角形であったが、平面視における

箱 1 の形状は、例えば、三角形又は五角形などの多角形であってもよいし、円弧状の部分の有してもよい。この場合においても、収納部 20 の第 2 周壁部 22 の高さを、蓋部 10 の第 1 周壁部 12 の高さよりも低くすることで、収納部 20 の内側から物品 2 を取り出しやすくすることができる。また、蓋部 10 が閉じられている状態で、収納部 20 の第 2 周壁部 22 によって支持される被支持面 14 A を蓋部 10 に設けることにより、蓋部 10 が収納部 20 に対して下方に沈み込むことを抑制できる。

[0044] [5. 付記]

(1) 以上説明したように、本開示の実施形態の一例である箱 1 は、収納部 20 と、前記収納部 20 の上側を覆う蓋部 10 とを備えている。前記蓋部 10 は、天板部 11 と、前記天板部 11 を取り囲む第 1 周壁部 12 とを有している。前記収納部 20 は、底板部 21 と、前記底板部を取り囲む第 2 周壁部 22 とを有している。前記第 1 周壁部 12 は、前記収納部 20 と折り目を介して繋がっている。前記第 2 周壁部 22 は、前記第 1 周壁部 12 よりも高さが低い。前記蓋部 10 は、前記蓋部 10 が閉じられている状態で、前記天板部 11 よりも下方に配置され、第 2 周壁部 22 の上端部で支持されている被支持面 14 A を更に有している。これによれば、箱 1 の内側に収納されている物品 2 を取り出しやすくできるようになる。

[0045] (2) 上記 (1) の箱 1 において、前記第 1 周壁部 12 は、前後方向（上下方向に対して垂直な第 1 の方向）において互いに離れている第 1 後壁部 12 B（第 1 側壁部）と第 1 前壁部 12 F（第 2 側壁部）を含んでよい。前記第 1 後壁部 12 B は、前記収納部 20 と折り目を介して繋がってよい。前記被支持面 14 A は、前記第 1 前壁部 12 F の内側に形成されてよい。

[0046] (3) 上記 (2) の箱 1 において、前記第 1 前壁部 12 F は、前記蓋部 10 の外側を構成している外側壁部 121 F と、前記外側壁部 121 F と折り目を介して繋がっており前記蓋部 10 の内側を構成している内側壁部 122 F を有してよい。前記被支持面 14 A は、前記内側壁部 122 F と折り目を介して繋がってよい。

- [0047] (4) 上記(2)又は(3)の箱1において、前記蓋部10は、前記被支持面14Aから上方且つ前記第1後壁部12Bに向かう方向の斜め方向に伸びている傾斜面15Aを更に有してよい。
- [0048] (5) 上記(4)の箱1において、前記収納部20の少なくとも一部分と前記蓋部10の少なくとも一部分は、第1の面を有する平板状の部材を折り曲げることによって形成されてよい。前記天板部11の上面、前記被支持面14A、及び前記傾斜面15Aは、前記第1の面の一部分であってよい。
- [0049] (6) 上記(2)～(5)のうちのいずれかの箱1において、前記第1周壁部12は、前記第1側壁部12から前記第1前壁部12Fに伸びている第1左壁部12L(第3側壁部)を有してよい。前記第1左壁部12Lは、前記蓋部10の外側を構成している外側壁部121Lと、前記外側壁部121Lと折り目を介して繋がっており前記蓋部10の内側を構成している内側壁部122Lと、前記内側壁部と外側壁部との間の隙間とを有してよい。前記蓋部10は、前記隙間に差し込まれている差し込み部31L(可動部)を有してよい。前記差し込み部31Lは、前記差し込み部31Lの全体が前記隙間に配置されている第1の位置と、前記差し込み部31Lの一部が前記隙間から露出している第2の位置との間での動きが許容されてよい。前記蓋部10が閉位置にあるときには前記差し込み部31Lは前記第1の位置にあってよい。前記差し込み部31Lが前記第2の位置にあるときには前記蓋部10は開位置にあってよい。

請求の範囲

- [請求項1] 収納部と、前記収納部の上側を覆う蓋部とを備えている箱であって、
- 、
- 前記蓋部は、天板部と、前記天板部を取り囲む第1周壁部とを有し、
- 、
- 前記収納部は、底板部と、前記底板部を取り囲む第2周壁部とを有し、
- 前記第1周壁部は、前記収納部と折り目を介して繋がっており、
- 前記第2周壁部は、前記第1周壁部よりも高さが低く、
- 前記蓋部は、前記蓋部が閉じられている状態で、前記天板部よりも下方に配置され、第2周壁部の上端部で支持されている被支持面を更に有している
- 箱。
- [請求項2] 前記第1周壁部は、上下方向に対して垂直な第1の方向において互いに離れている第1側壁部と第2側壁部を含み、
- 前記第1側壁部は、前記収納部と折り目を介して繋がっており、
- 前記被支持面は、前記第2側壁部の内側に形成されている
- 請求項1に記載されている箱。
- [請求項3] 前記第2側壁部は、前記蓋部の外側を構成している外側壁部と、前記外側壁部と折り目を介して繋がっており前記蓋部の内側を構成している内側壁部を有し、
- 前記被支持面は、前記内側壁部と折り目を介して繋がっている
- 請求項2に記載されている箱。
- [請求項4] 前記蓋部は、前記被支持面から上方且つ前記第1側壁部に向かう方向の斜め方向に伸びている傾斜面を更に有している
- 請求項2に記載されている箱。
- [請求項5] 前記収納部の少なくとも一部分と前記蓋部の少なくとも一部分は、第1の面を有する平板状の部材を折り曲げることによって形成されて

おり、

前記天板部の上面、前記被支持面、及び前記傾斜面は、前記第1の面の一部分である

請求項4に記載されている箱。

[請求項6]

前記第1周壁部は、前記第1側壁部から前記第2側壁部に伸びている第3側壁部を有しており、

前記第3側壁部は、前記蓋部の外側を構成している外側壁部と、前記外側壁部と折り目を介して繋がっており前記蓋部の内側を構成している内側壁部と、前記内側壁部と外側壁部との間の隙間とを有しており、

前記蓋部は、前記隙間に差し込まれている可動部を有し、

前記可動部は、前記可動部の全体が前記隙間に配置されている第1の位置と、前記可動部の一部分が前記隙間から露出している第2の位置との間での動きが許容され、

前記蓋部が閉位置にあるときには前記可動部は前記第1の位置にあり、前記可動部が前記第2の位置にあるときには前記蓋部は開位置にある

請求項2に記載されている箱。

[請求項7]

折り曲げることによって収納部と蓋部とを備える箱を形成できる平板状の箱材料であって、

前記蓋部は、天板部と、前記天板部を取り囲むための第1周壁部を有し、

前記収納部は、底板部と、前記底板部を取り囲むための第2周壁部を有し、

前記第1周壁部は、前記箱が形成されている状態で、前記収納部と折り目を介して繋がっており、

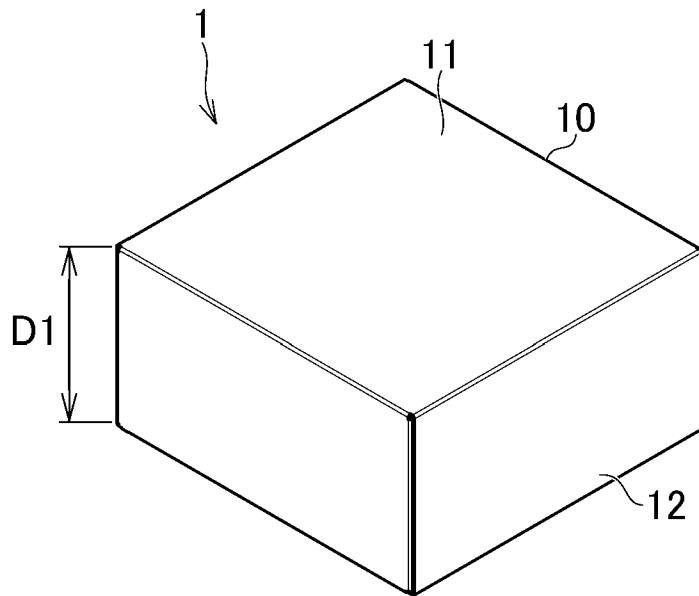
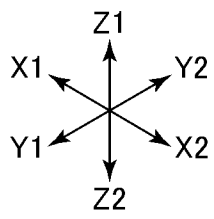
前記第2周壁部は、前記箱が形成されており且つ前記蓋部が閉じられている状態で、前記第1周壁部よりも高さが低くなるように形成さ

れ、

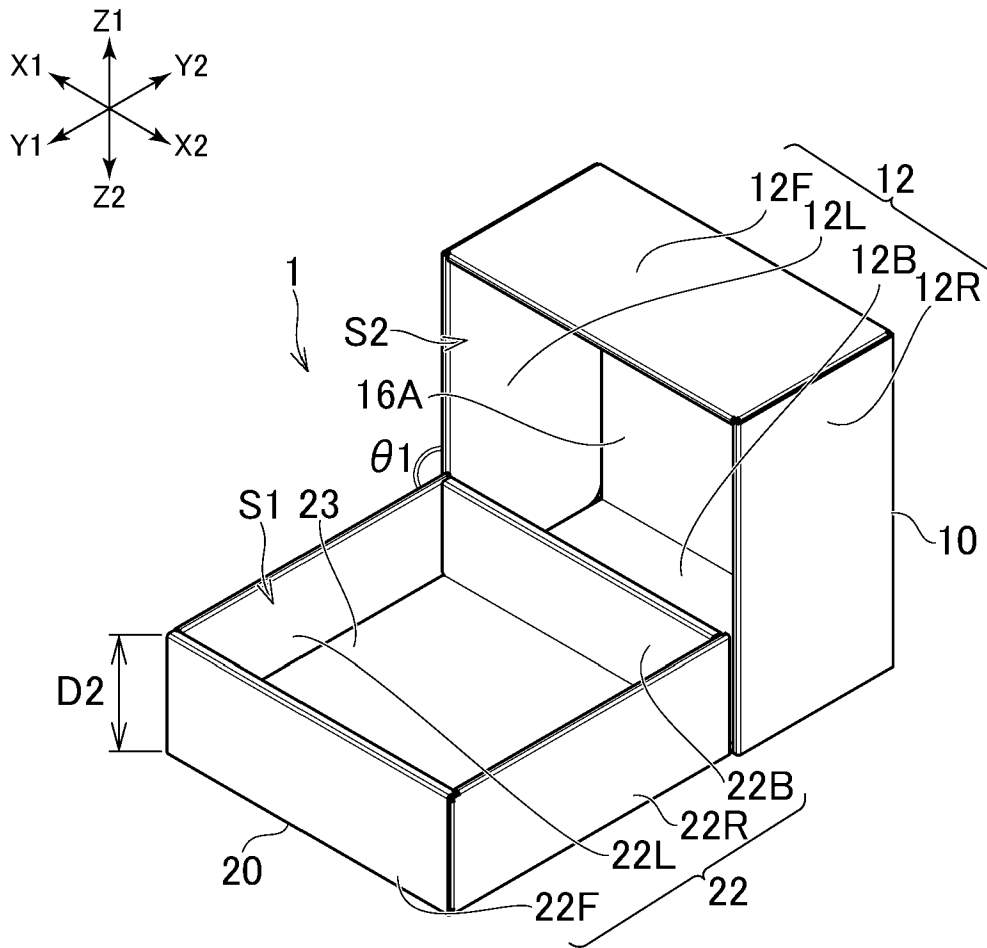
前記蓋部は、前記箱が形成されており且つ前記蓋部が閉じられている状態で、前記天板部よりも下方に配置され、前記第2周壁部の上端部で支持される被支持面を更に有している

前記箱を形成できる箱材料。

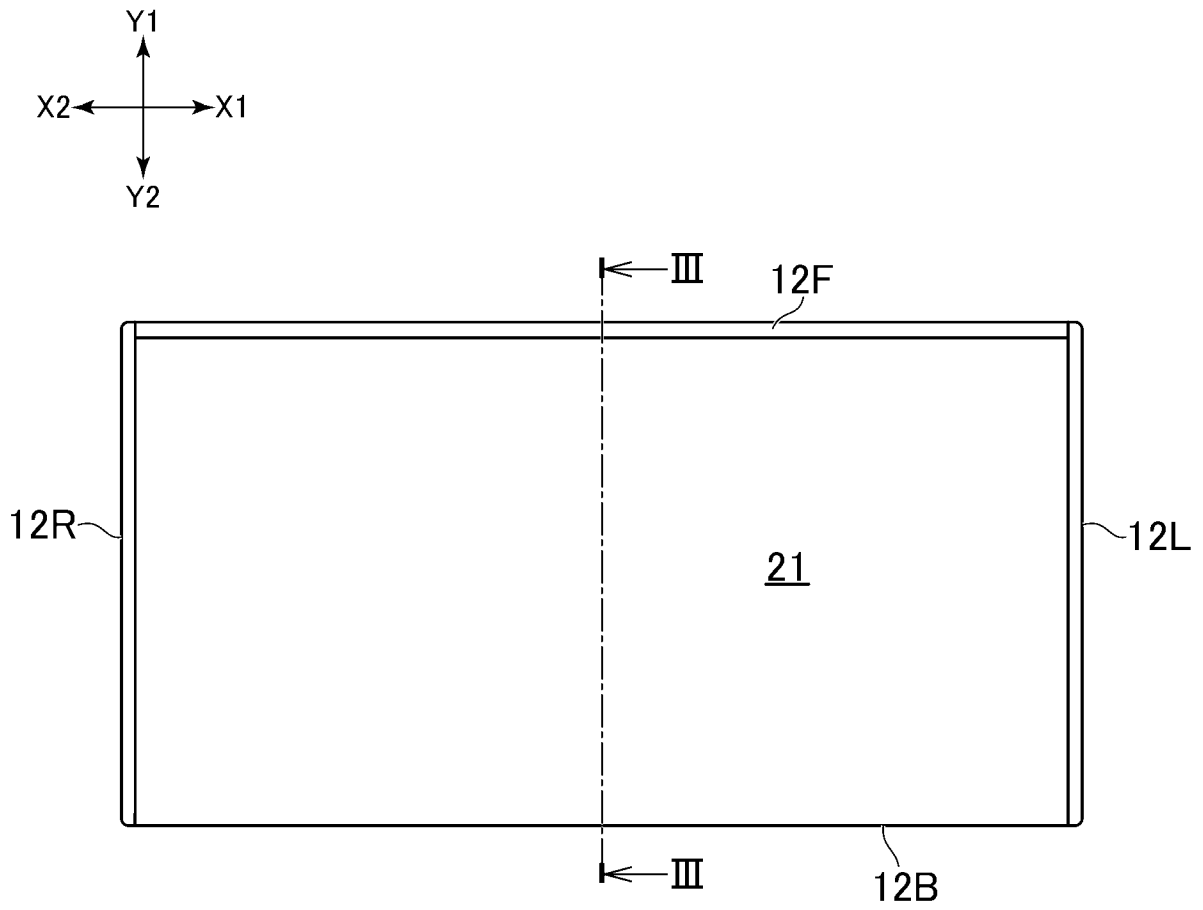
[図1A]



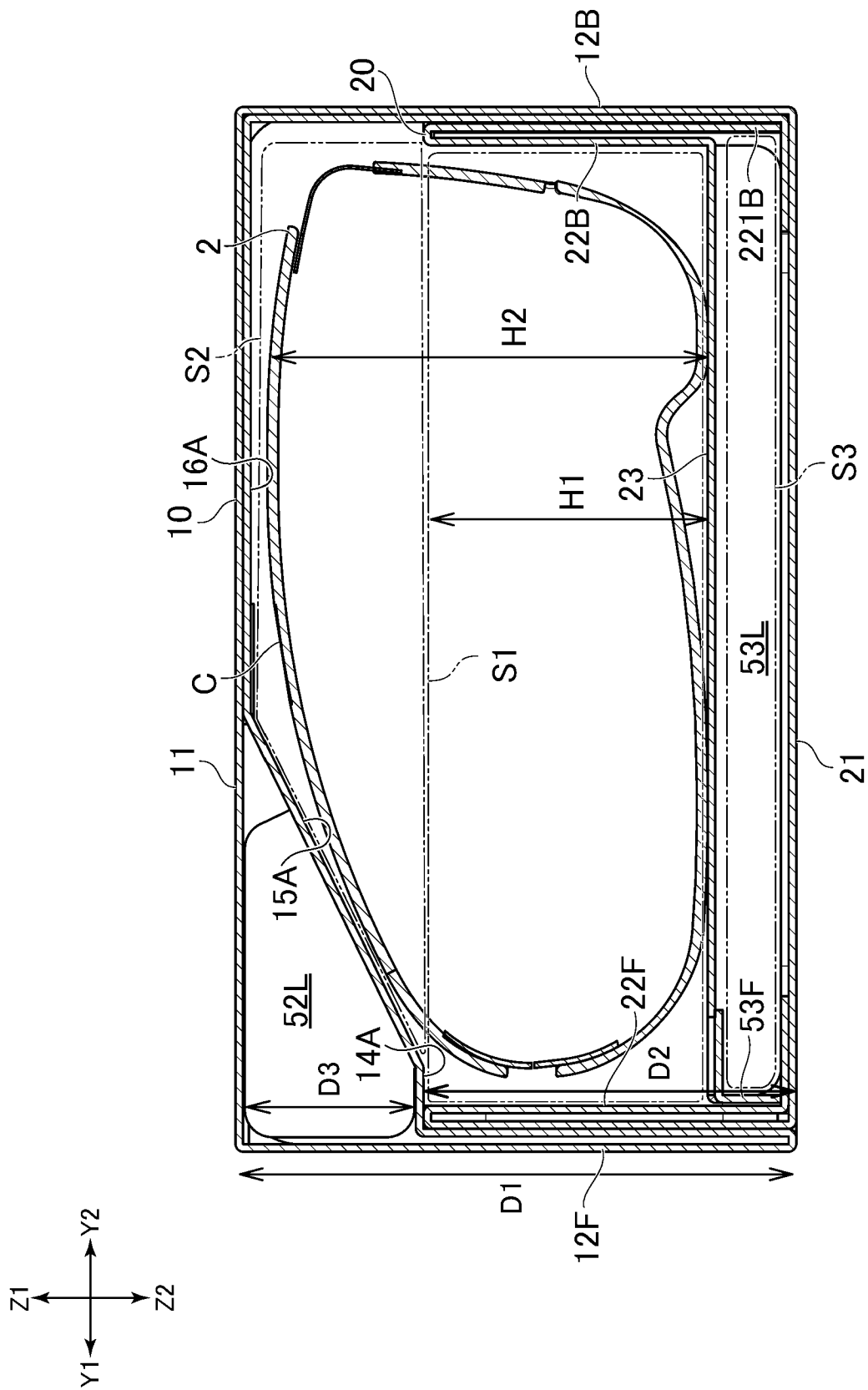
[図1B]



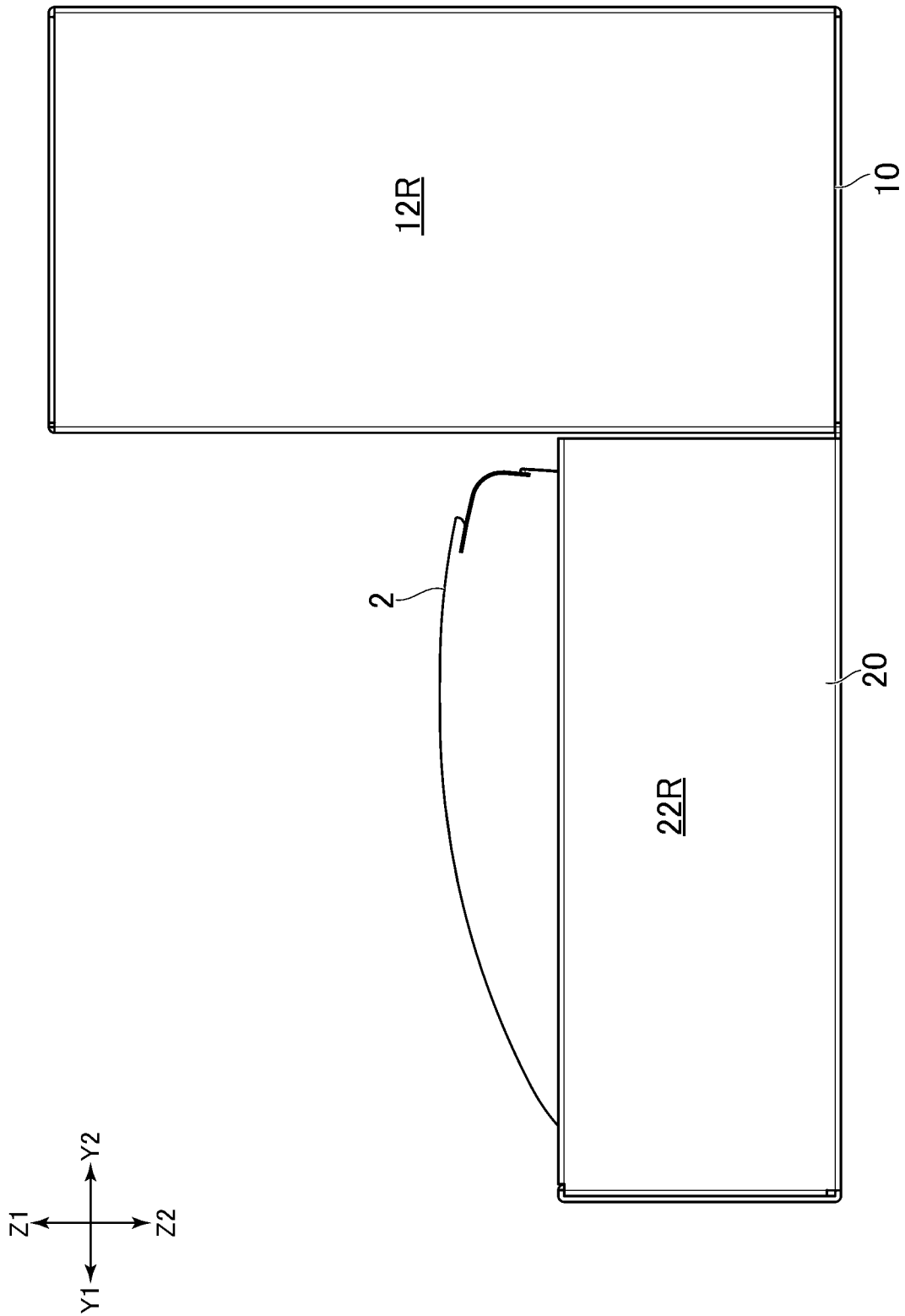
[図2]



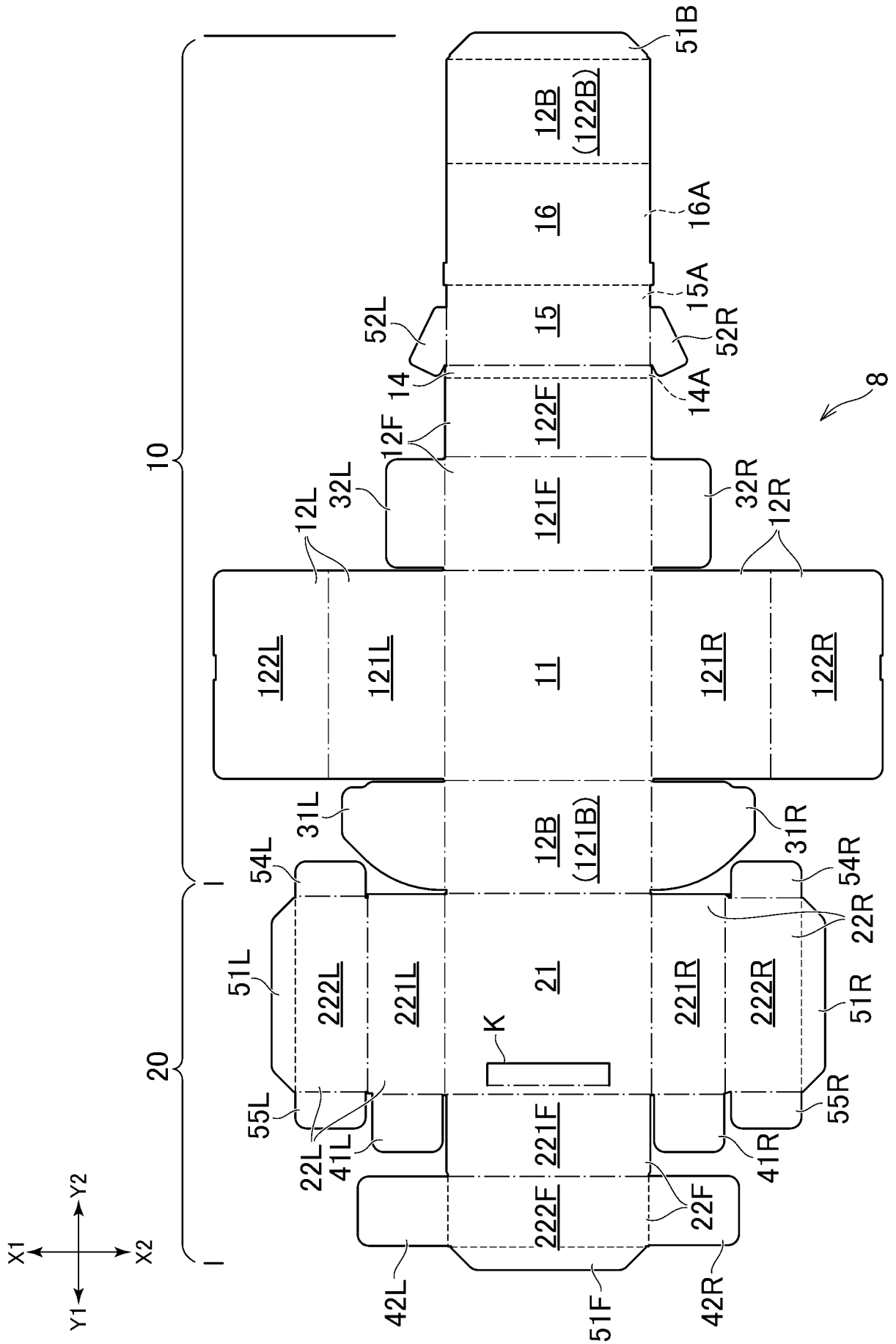
[図3]



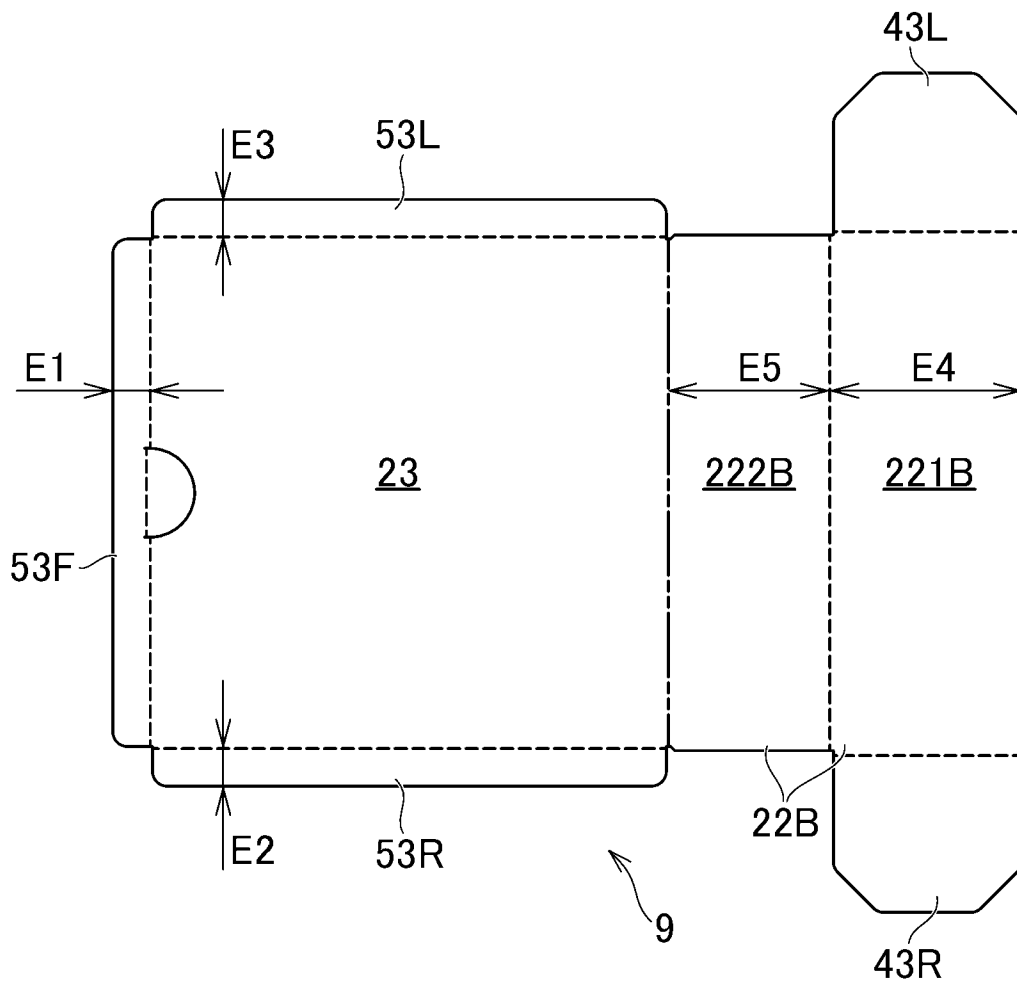
[図4]



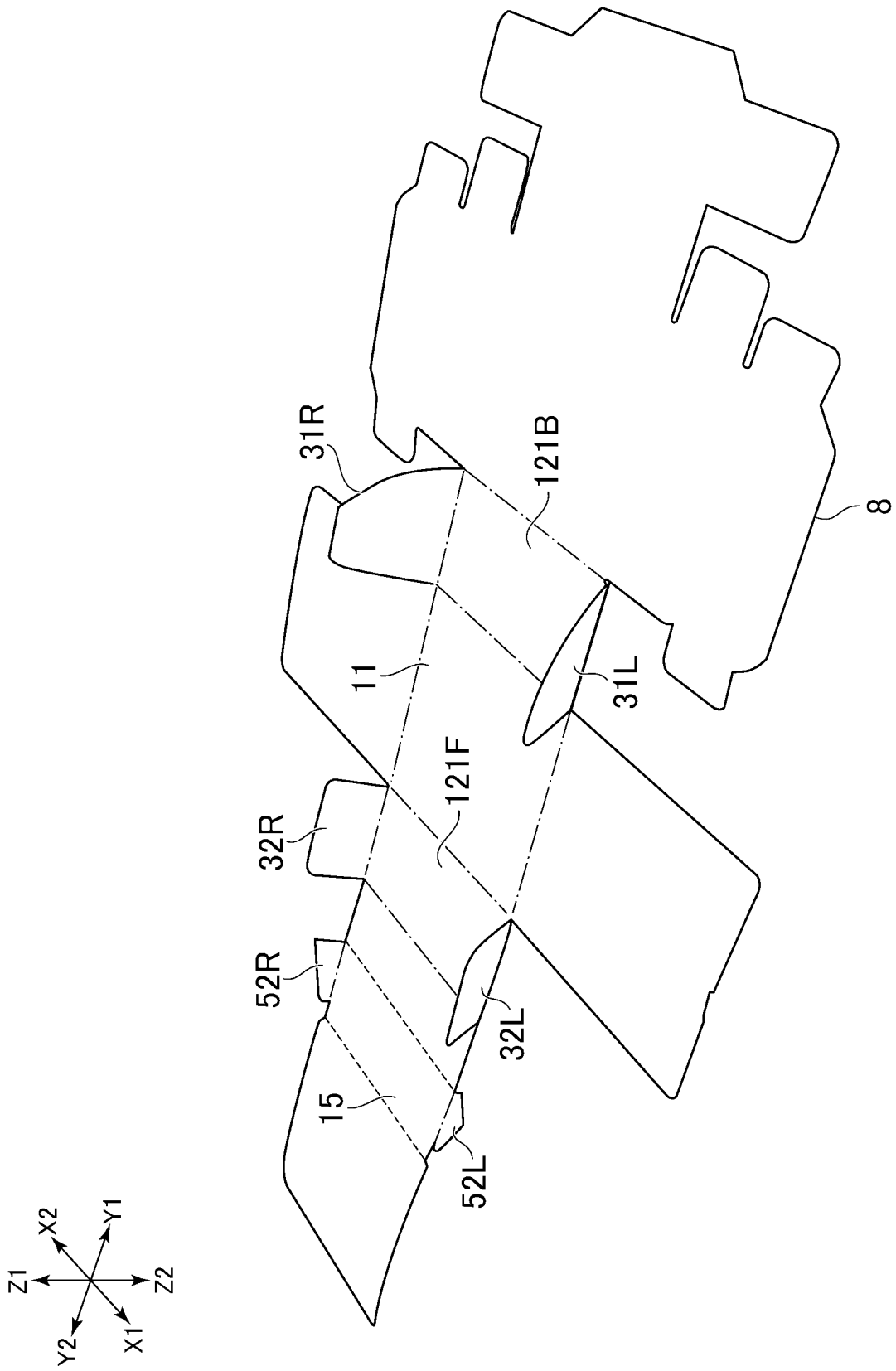
[図5A]



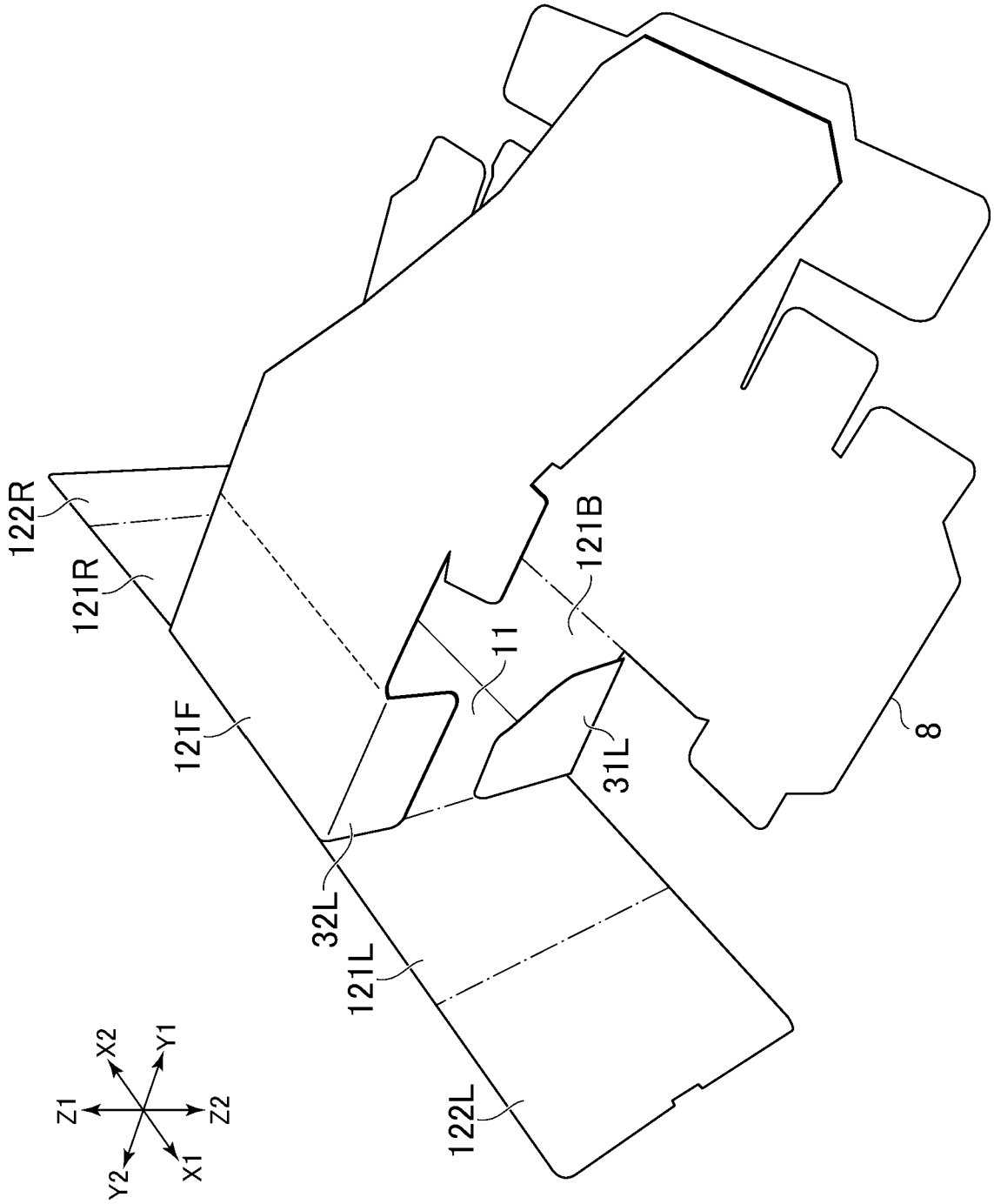
[図5B]



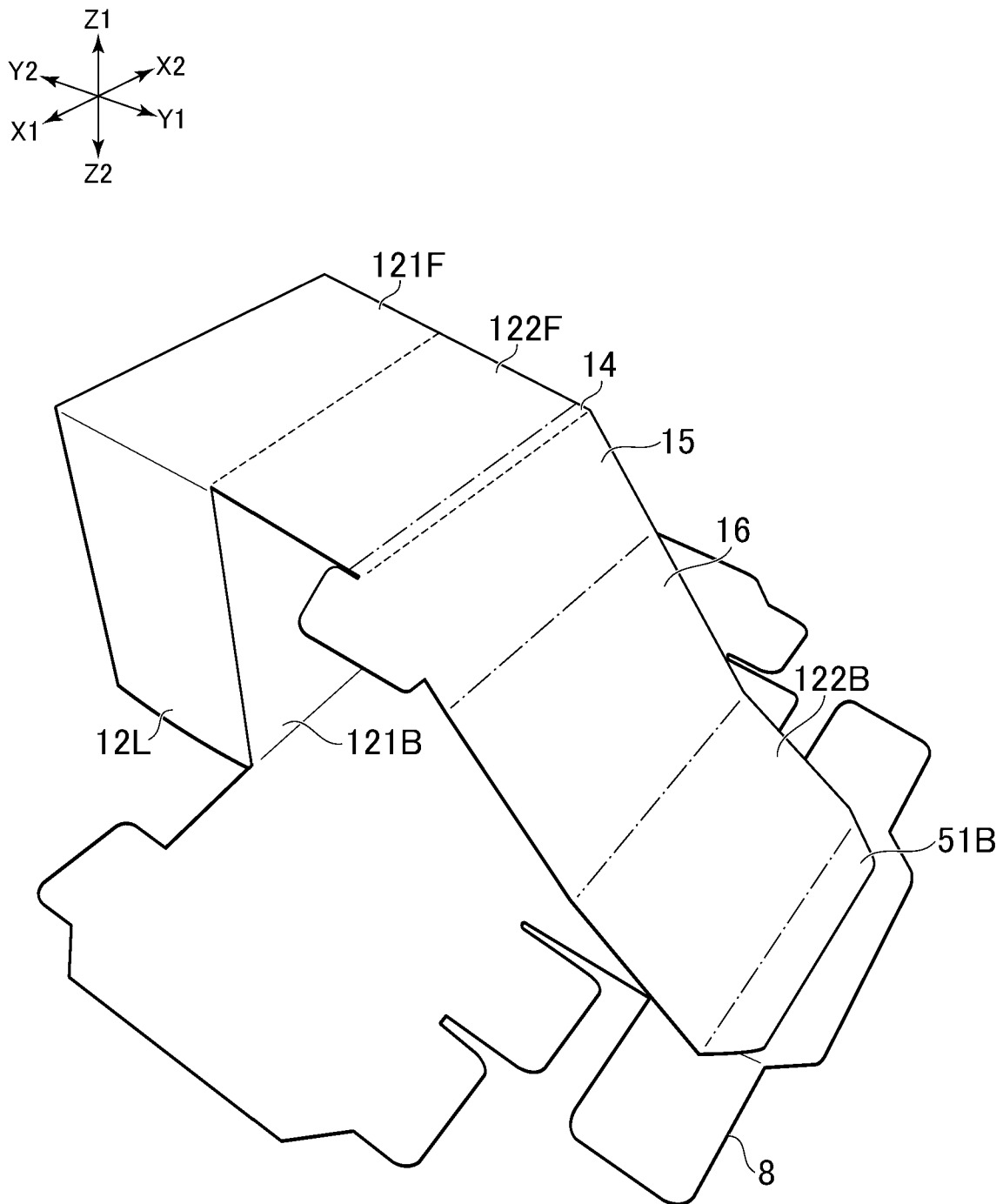
[図6A]



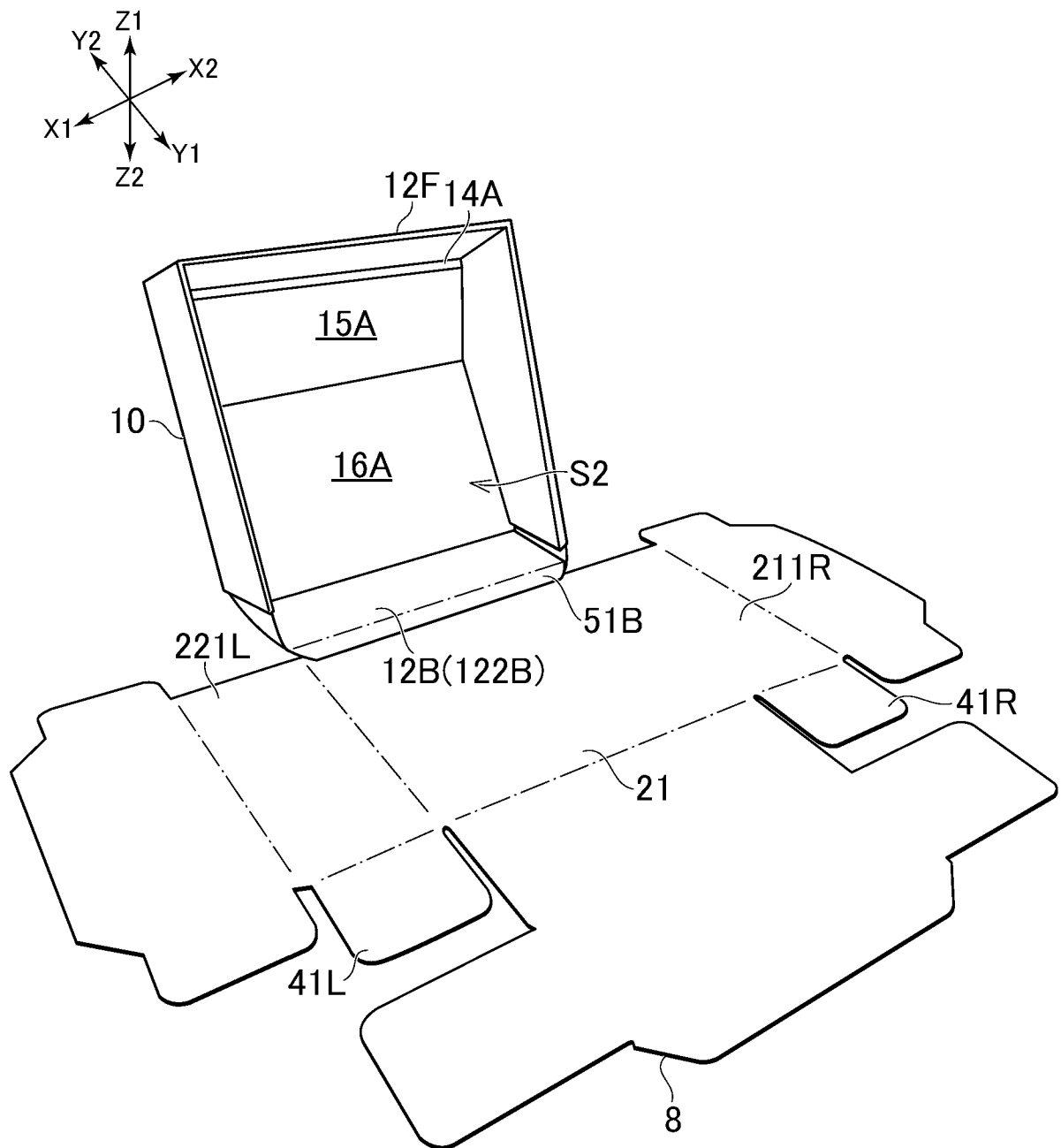
[図6B]



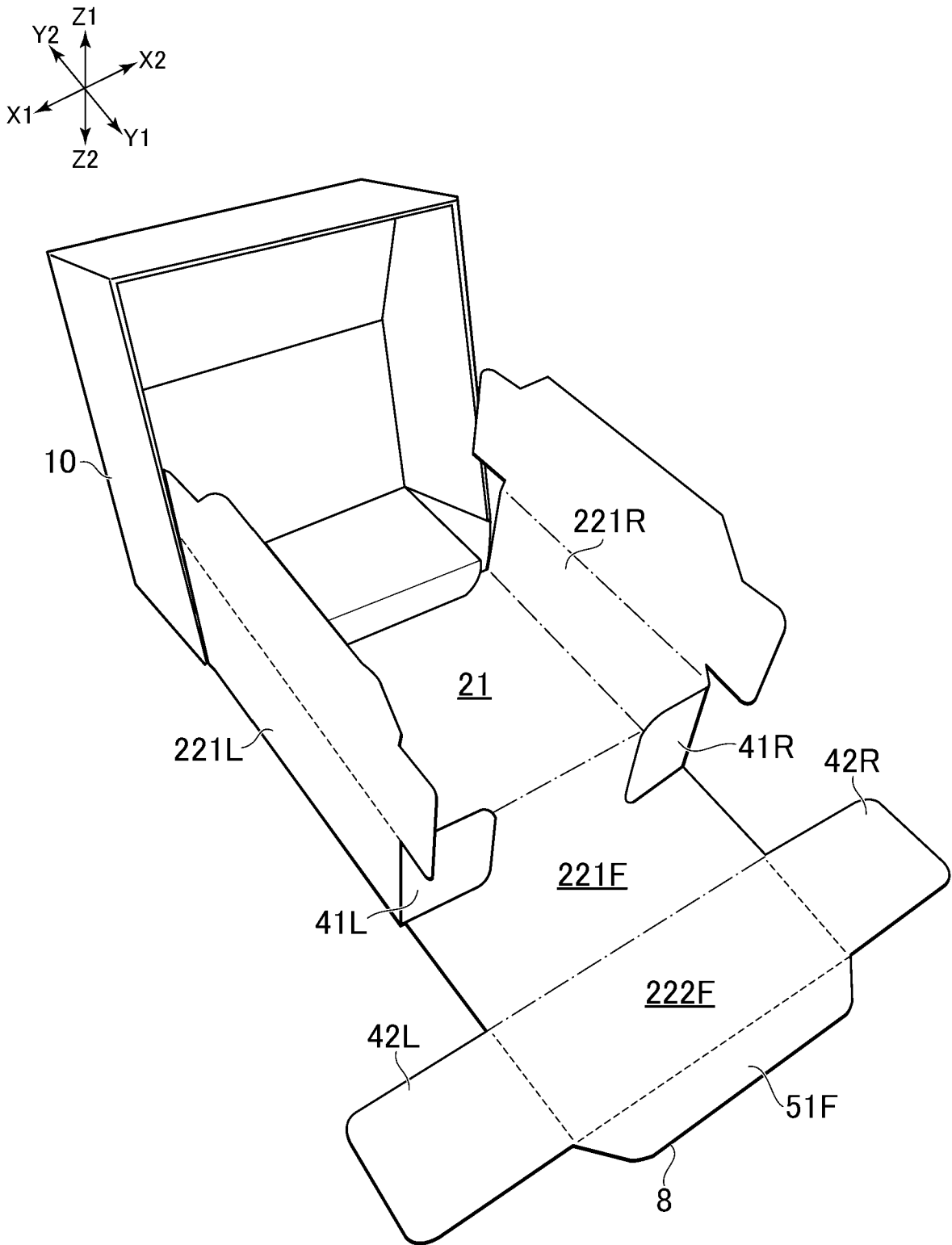
[図6C]



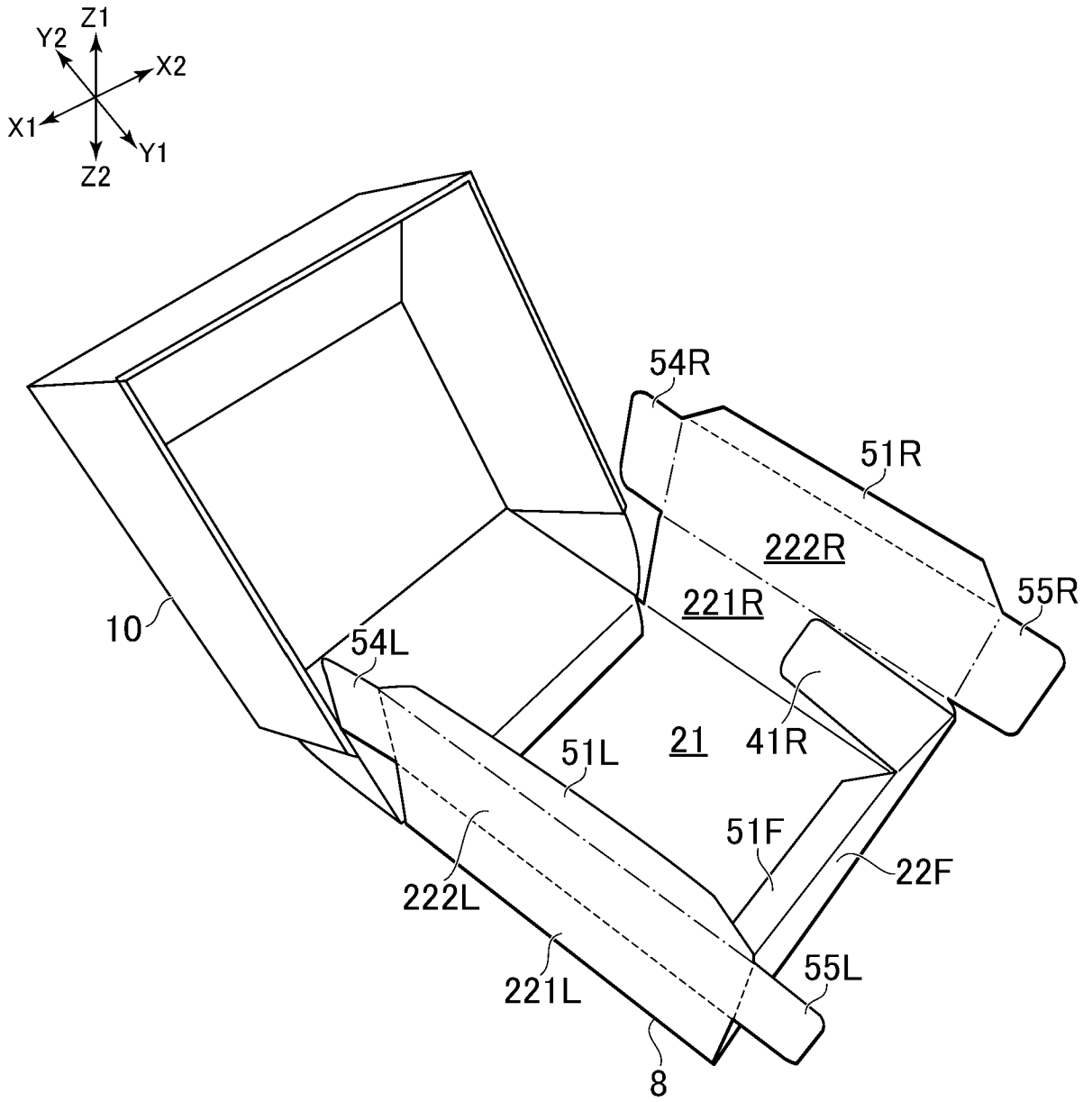
[図6D]



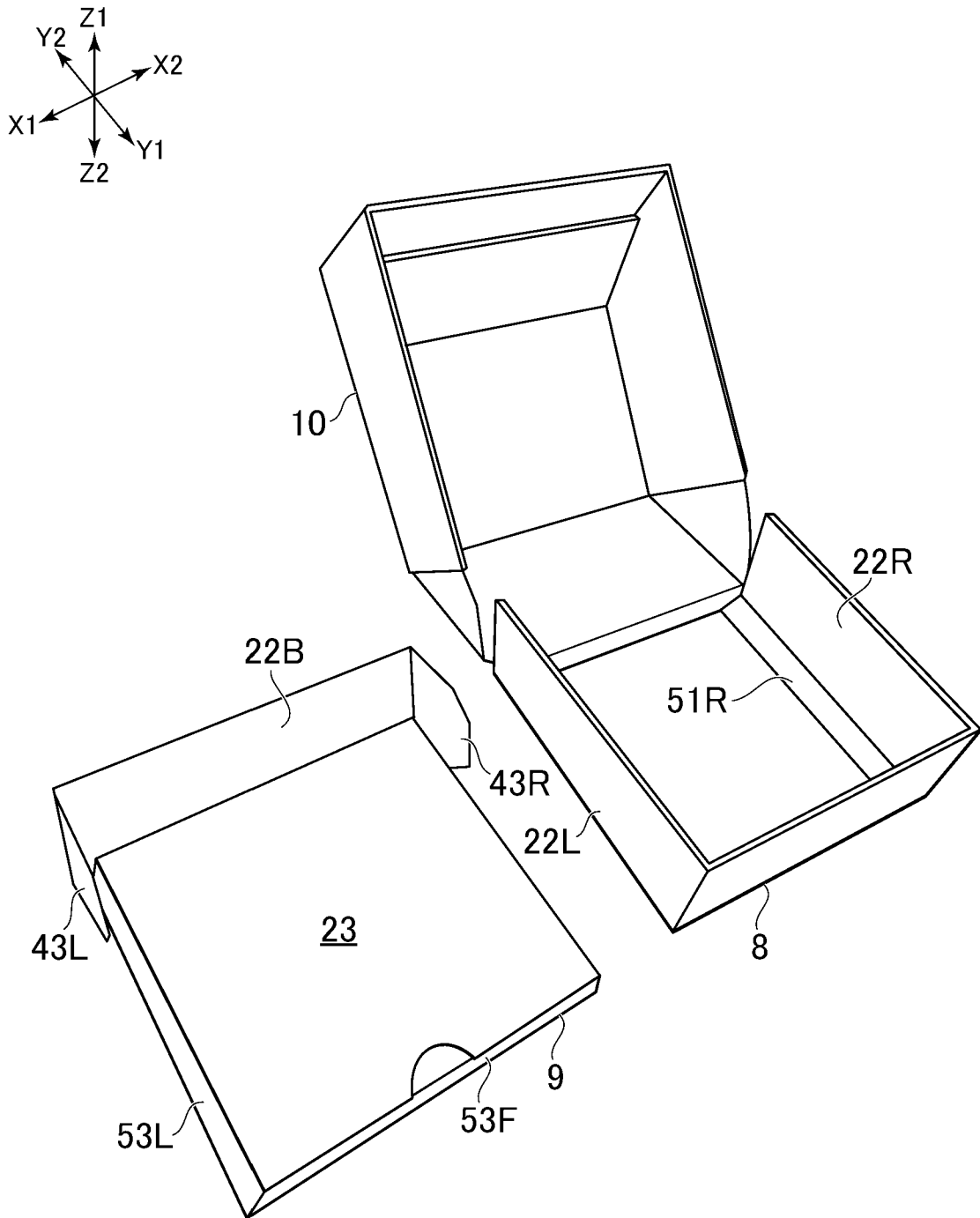
[図6E]



[図6F]



[図6G]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2023/037412

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER <i>B65D 5/22</i> (2006.01)i; <i>B65D 5/66</i> (2006.01)i FI: B65D5/66 311C; B65D5/22 A According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) B65D5/22; B65D5/66		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Published examined utility model applications of Japan 1922-1996 Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2023 Registered utility model specifications of Japan 1996-2023 Published registered utility model applications of Japan 1994-2023		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 45-13328 Y1 (CENTRAL SHIKA KOGYO KK) 08 June 1970 (1970-06-08) column 1, line 24 to column 4, line 5, fig. 1-8	1-3, 7
A		4-6
A	JP 2005-35547 A (KONICA MINOLTA MEDICAL & GRAPHIC INC) 10 February 2005 (2005-02-10)	1-7
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 06 November 2023		Date of mailing of the international search report 05 December 2023
Name and mailing address of the ISA/JP Japan Patent Office (ISA/JP) 3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915 Japan		Authorized officer Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.

PCT/JP2023/037412

Patent document cited in search report	Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)	Publication date (day/month/year)
JP 45-13328 Y1	08 June 1970	(Family: none)	
JP 2005-35547 A	10 February 2005	(Family: none)	

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC）） B65D 5/22(2006.01)i; B65D 5/66(2006.01)i FI: B65D5/66 311C; B65D5/22 A		
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC）） B65D5/22; B65D5/66 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922 - 1996年 日本国公開実用新案公報 1971 - 2023年 日本国実用新案登録公報 1996 - 2023年 日本国登録実用新案公報 1994 - 2023年		
国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）		
C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X	JP 45-13328 Y1（セントラル紙化工業株式会社）08.06.1970（1970 - 06 - 08） 1 欄 2 4 行 - 4 欄 5 行、図 1 - 8	1-3, 7
A		4-6
A	JP 2005-35547 A（コニカミノルタエムジー株式会社）10.02.2005（2005 - 02 - 10）	1-7
<input type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列挙されている。 <input checked="" type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。		
* 引用文献のカテゴリー “A” 特に関連のある文献ではなく、一般的な技術水準を示すもの “E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの “L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） “O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 “P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献 “T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの “X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの “Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの “&” 同一パテントファミリー文献		
国際調査を完了した日 06.11.2023	国際調査報告の発送日 05.12.2023	
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 〒100-8915 日本国 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	権限のある職員（特許庁審査官） 矢澤 周一郎 3N 3623 電話番号 03-3581-1101 内線 3361	

国際調査報告
パテントファミリーに関する情報

国際出願番号

PCT/JP2023/037412

引用文献	公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP 45-13328 Y1	08.06.1970	(ファミリーなし)	
JP 2005-35547 A	10.02.2005	(ファミリーなし)	